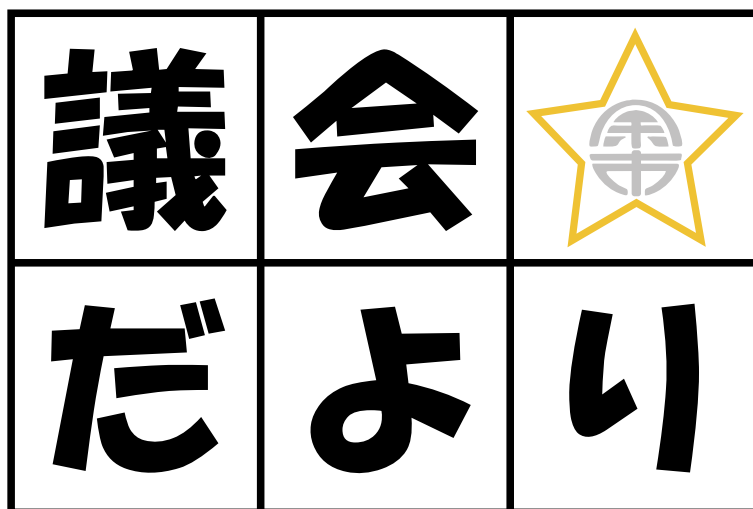


よいち町

2021.12
No.201



第3回定例会・第4・5回臨時会の審議結果

- 審議結果 P 2～4
 - ・令和2年度水道事業会計の決算の認定を特別委員会に付託
 - ・余市町過疎地域持続的発展市町村計画を可決
 - ・行政報告
- 各常任委員会・議会運営委員会委員の選任 P 5
- 要望意見書の審議結果 P 6
 - ・国土強靱化に資する社会資本整備等に関する要望意見書など4件の意見書を可決
- 常任委員会の動き P 7～8
- 一般質問 P 9～13
 - ・9議員が町政全般について10項目を質問

審 議 内 容

令和3年第3回定例会 第4・5回臨時会

令和3年9月13日～15日に開催の第3回定例会、8月23日に開催の第4回臨時会、10月6日に開催の第5回臨時会での審議結果についてお知らせいたします。

補正 予算

一般会計

□令和3年度一般会計補正予算
(第4号)
総額298万円を追加

◆主な補正内容
○町営斎場建替事業適地選定委託料
197万円

○文化財施設修繕費
101万円

□令和3年度一般会計補正予算
(第5号)
総額3億5212万円を追加

◆主な補正内容
○寄附に伴う各種基金積立金
1億2618万円

○ふるさと納税関連経費
1億3449万円

○余市協会病院バス路線運行維持対策事業補助金
500万円

○新型コロナウイルス対策事業

・防災関連消耗品・備品購入費
2370万円

・成人式インターネット配信関係経費
29万円

・ポストコロナ型事業創出支援補助金
120万円

・交通事業者支援事業助成金
1600万円

・幼稚園・高等学校支援事業助成金
360万円

○新型コロナウイルスワクチン接種関連経費
3133万円

○橋りょう補修整備事業
500万円

・第3回定例会・第4回臨時会での補正予算【一般会計】

	補 正 額	補正後予算額
第4号	298万円	96億1,256万円
第5号	3億5,212万円	99億6,468万円

各特別会計

□令和3年度介護保険特別会計
補正予算(第2号)
総額754万円を追加

◆主な補正内容

・令和2年度の負担金、交付金の精算に伴う国・北海道等への返還金によるもの

□令和3年度公共下水道特別会計補正予算(第1号)
総額1320万円を追加

◆主な補正内容

・余市下水処理場における自家発電機の修繕によるもの

□令和3年度水道事業会計補正予算(第1号)【専決処分】
総額165万円を追加

◆主な補正内容

・損害賠償に関わる賠償金によるもの【行政報告参照】

条例案

□余市町個人情報保護条例及び余市町行政手続における特定の個人を識別するための番号

の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部を改正する条例案

関係法令の改正に伴い、所要の改正を行いました。

□余市町過疎地域における固定資産税の課税免除に関する条例案

過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法が4月1日に施行されたことに伴い、過疎地域での設備投資を促進し、雇用の維持創出に寄与することと地域の持続的発展につなげようとするため提案され、原案のとおり可決されました。

人事 案件

□余市町教育委員会委員の任命について

余市町教育委員会委員の任期満了に伴い、久保浩氏を再任することに同意しました。

行政報告

□令和2年国勢調査について

【要旨】

国勢調査は、統計法に基づき5年ごとに行われ、大正9年に第1回調査が行われて以来、今回で21回目を迎え、「世帯員の数」、「現在の住居における居住期間」など19項目について調査を実施しました。

余市町においては昨年8月3日に令和2年国勢調査余市町実施本部を設置、192区の調査区域を設定し、総務大臣から任命された131人の国勢調査員が調査事務を行い、調査内容を集計、北海道に報告し、12月30日に実施本部を解散しました。

このたび、北海道総合政策部計画局統計課並びに総務省統計局から公表のあった人口と世帯数の速報値をご報告申し上げます。なお、報告いたします数値につきましても概数であり、今後総務省統計局から公表される数値と相違する場合がありますことをご了承願いたいと存じます。

調査による10月1日現在の本

町の総人口は1万8012人で平成27年の前回調査における総人口1万9607人と比較して1595人の減であり、減少率は8.1%、世帯数は8272世帯で、前回調査と比較して497世帯の減であり、減少率は5.7%です。

人口及び世帯数以外の結果の公表は、人口等基本集計として、「人口、世帯、住居に関する結果及び外国人、高齢者世帯、母子・父子世帯、親子の同居等に関する結果」が本年11月、さらに、「就業状態等基本集計として」、「人口の労働力状態、夫婦、子供のいる世帯等の産業・職業大分類別構成に関する結果」が令和4年5月に総務省統計局から公表される予定です。

国勢調査に当たり、町民各位のご理解とご協力により調査が順調に行われ、所期の目的が達成されましたことに心より感謝とお礼を申し上げます。

□株式会社余市振興公社の清算結了について

【要旨】

株式会社余市振興公社は、本年3月29日開催の臨時株主総会において令和3年3月31日をもっての解散が決議され、この

間、清算人を選任しての清算事務が執行されていたところであり、このたび、当該清算事務が完了したことから、事務処理の経過及び結果についてご報告を申し上げます。

清算事務は官報への解散公告の掲載を皮切りに、諸債権の取り立て及び諸債務の支払い、資産の売却などが行われ、その結果、残余財産の額は3371万1149円と確定しました。これを受け、清算人から株主に対し、株主総会の決議事項である「決算報告及び清算事務報告書」に関する提案書を発したところ、令和3年7月30日、議決権を有する株主の全員より賛成の意思表示が得られたことから、会社法第319条第1項の規定に基づき、同日付で本件を可決する旨の総会決議があったものとみなされました。

その後、令和3年7月30日付での清算結了登記、さらに8月17日に関係行政庁に対し清算結了及び事業廃止に係る届出がなされ、清算事務が完了しました。

なお、残余財産は各株主の保有株式数に応じて分配され、本町への分配金の額は2129万1252円となっております。

□損害賠償について

【要旨】

本年8月12日早朝に道道余市港線で漏水事故が発生したことにより、周辺の水産加工業者へ漏水による影響を調査したところ、注意喚起前に加工作業をしていた水産加工業者の製品に配水管内の水に含まれるカルシウムやマグネシウム等の無機塩類化合物が混入し損害を与えたもので、損害賠償について相手方と示談が成立したことから、その概要を報告申し上げます。

事故の概要は令和3年8月12日、午前4時半頃、港町87番1地先の道道余市港線歩道内に埋設されている配水管から漏水が発生し、復旧工事のため水流の減圧にて作業をしておりました。が、管内水圧が変化したため、流速の変化や予期しない管網の流れとなり、排水管内に無機塩類化合物が発生したことによるものであり、水産加工業者への注意喚起が午前8時半頃であったため、周知前に作業をしていた相手方の製品に損害を与えたものです。

今回、漏水事故が発生した配水管は来年度から老朽管の布設替えの計画となっております。今後、漏水事故が発生した場合は早急な対応に努めます。

□余市町農業振興協議会委員の推薦について

余市町農業振興協議会委員に藤野博三議員を推薦しました。

その	他の
の	案件

□余市町過疎地域持続的発展市町村計画の策定について

平成28年に策定した、余市町過疎地域自立促進市町村計画の期間が満了となり、新たな過疎地域の特別措置法として同年4月1日に施行された過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法に基づき、余市町過疎地域持続的発展市町村計画について提案され、原案のとおり可決されました。

□工事請負契約の締結について

○令和3年度重要給水施設配水管更新工事（1工区）
契約金額 8165万3000円

工期 自 令和3年8月27日
至 令和4年2月25日

審 議 内 容

請負業者 高橋・関特定共同企業体

○令和3年度重要給水施設配水管更新工事(2工区)
契約金額 9430万3000円

工期 自 令和3年8月27日
至 令和4年2月25日
請負業者 堀川管工・中山特定共同企業体

○令和3年度余市町移動通信用

鉄塔施設建設工事
契約金額 5093万円
工期 自 令和3年8月27日
至 令和4年1月20日
請負業者 北海電気工事株式会社

○令和3年度公共下水道余市下水処理場電気計装設備更新工事
契約金額 6094万円
工期 自 令和3年9月17日
至 令和5年2月20日

請負業者 三菱電機プラント・大江特定共同企業体

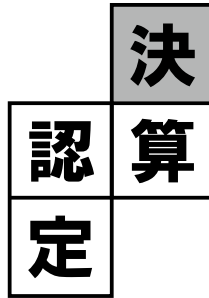
○令和3年度美園墓地地下壕充填工事
契約金額 1億4355万円

工期 自 令和3年10月11日
至 令和4年3月25日

請負業者 和田建設工業株式会社

□損害賠償に係る和解及び損害賠償額の決定について
【専決処分】

水道の漏水事故による損害賠償に係る和解及び損害賠償額について了承しました。【行政報告参照】



□令和2年度余市町水道事業会計決算認定について

第3回定例会に提出された令和2年度水道事業会計の決算については、令和2年度余市町水道事業会計決算特別委員会(安久莊一郎委員長・内海博一副委員長)を設置し、審査を行っています。

議会を傍聴してみませんか 《次の定例会は12月中旬に開催の予定です。》

- ◆本会議については、役場3階の議会事務局で、傍聴人受付簿に住所・氏名を記入するだけで傍聴できます。
傍聴定員は38人となっており、会議当日の先着順となっています。
- ◆常任委員会や特別委員会については、委員長の許可を得なければ傍聴できないことになっていますが、プライバシーにかかわる審議など特別の事情がない限り傍聴を認めています。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため傍聴される場合、次のことにご協力をお願いします。

- 議場への入場時に、手指の消毒をお願いいたします。
(消毒液は出入口に設置しています。)
- 議場ではマスクの使用をお願いいたします。
- 体調のすぐれない方(発熱、せき等)は、傍聴をご遠慮願います。
- 傍聴時の「密接」を避けるため、傍聴者数を制限させていただくことがありますので、ご了承願います。

※詳しい日程などは、議会ホームページをご覧ください。
(TEL 21-2132)へお問い合わせください。

常任委員会・議会運営委員会の構成

議会議員の任期は4年ですが、本町の常任委員会等の委員の任期は条例で2年となっており、第4回臨時会（8月23日開催）で各委員が選任され、8月27日開催の第1回の各委員会で正副委員長の互選が行われました。

総務文教常任委員会

委員長	岸 本 好 且
副委員長	内 海 博 一
委員	野 呂 栄 二
委員	吉 田 豊
委員	近 藤 徹 哉
委員	大 物 翔

民生環境常任委員会

委員長	中 谷 栄 利
副委員長	茅 根 英 昭
委員	白 川 栄美子
委員	彫 谷 吉 英
委員	土 屋 美奈子

産業建設常任委員会

委員長	藤 野 博 三
副委員長	山 本 正 行
委員	庄 巖 龍
委員	寺 田 進
委員	安 久 莊一郎

議会運営委員会

委員長	白 川 栄美子
副委員長	大 物 翔
委員	内 海 博 一
委員	庄 巖 龍
委員	寺 田 進
委員	山 本 正 行
委員	土 屋 美奈子

議会のホームページはこちら

➡ <http://www.town.yoichi.hokkaido.jp/gikai/index.html>

議会のホームページを随時更新し、議会からの情報発信に努めています。更なる充実に向けて忌憚のないご意見をお寄せください。

余市町議会

検索

余市町議会



審 議 内 容

議案に対する各議員の賛否一覧

地方自治法第96条で定める議決事件について、各議員の賛否結果が分かれた案件（欠席・退席含む）を掲載しています。

第4回臨時会 議案に対する各議員の賛否一覧表

賛成：○ 反対：× 欠席：欠

件名	審議結果	明政会						日本共産党議員団		よいち未来			公明党		余市町議会議員		
		藤野博三	内海博一	庄巖龍	彫谷吉英	茅根英昭	近藤徹哉	安久莊一郎	大物翔	中谷栄利	山本正行	土屋美奈子	岸本好且	寺田進	白川栄美子	野呂栄二	吉田豊
令和3年度余市町一般会計補正予算（第4号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
余市町個人情報保護条例及び余市町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例案	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
工事請負契約の締結について（令和3年度重要給水施設配水管更新工事（1工区））	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
工事請負契約の締結について（令和3年度重要給水施設配水管更新工事（2工区））	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
工事請負契約の締結について（令和3年度余市町移動通信用鉄塔施設建設工事）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠

※中井寿夫議長は採決には加わりません。

要望意見書の審議結果

第3回定例会で提出のあった意見案についてお知らせします。

件名	議案の提出者	審議結果	意見書の提出先
国土強靱化に資する社会資本整備等に関する要望意見書	議会運営委員会委員	原案可決	内閣総理大臣ほか関係大臣 衆議院議長・参議院議長
出産育児一時金の増額を求める要望意見書	議会運営委員会委員	原案可決	内閣総理大臣・厚生労働大臣 衆議院議長・参議院議長
コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める要望意見書	議会運営委員会委員	原案可決	内閣総理大臣ほか関係大臣 衆議院議長・参議院議長
義務教育の機会均等の確保と教育予算の確保・拡充を求める要望意見書	岸本好且議員ほか2人	原案可決	内閣総理大臣ほか関係大臣 衆議院議長・参議院議長
国の責任による20人学級を展望した少人数学級のさらなる前進を求める要望意見書	中谷栄利議員ほか1人	否 決	
特別支援学校の実効ある設置基準の策定及び特別支援学級の学級編成標準の改善を求める要望意見書	中谷栄利議員ほか1人	否 決	
大学生等への給付奨学金制度の拡充を求める要望意見書	岸本好且議員ほか1人	否 決	
適格請求書等保存方式（インボイス制度）の導入中止を求める要望意見書	中谷栄利議員ほか1人	否 決	
土地利用規制法を一定期間施行することなく、さらなる検討を求める要望意見書	中谷栄利議員ほか1人	否 決	
地域医療構想を見直し、実情に応じた医療体制の確立を求める要望意見書	中谷栄利議員ほか1人	否 決	
保健師等の大幅増員・保健所機能の抜本的強化を求める要望意見書	中谷栄利議員ほか1人	否 決	

※全会派の同意が得られた要望意見書は議会運営委員会の委員が提出者となっています。

常任委員会の動き

閉会中における各常任委員会の活動状況について、主要な調査事項などをお知らせします。
 なお、各常任委員会の委員の構成替えが行われ、8月27日にそれぞれ第1回の委員会を開催し、正副委員長の互選を行っています。
 また、各常任委員会の記録は、町立図書館に配置しておりますので、ご利用ください。

総務

文教

学校施設長寿命化計画について調査を行いました

【第21回】

(令和3年7月21日開催)

○余市町学校施設長寿命化計画の策定について(所管事務)
 余市町学校施設長寿命化計画の素案について説明を受け、審議しました。

○令和2年度指定管理者事業報告書について(報告案件)

余市町温水プール、余市町総合体育館の指定管理を行っている事業者から提出された、令和2年度の事業報告書について報告を受けました

【第22回】

(令和3年8月18日開催)

○地方公共団体の財政の健全化に関する法律に係る令和2年度余市町財政健全化判断比率の状況について(所管事務)

令和2年度の健全化判断比率(実質公債費比率・将来負担比率・実質赤字比率・連結実質赤字比率)について、それぞれの比率、算出根拠等の説明を受け、審議しました。

○過疎地域における固定資産税の課税免除に関する条例の整備について(報告案件)

新たに施行された過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法に基づき、地域での設備投資を促進し、雇用の維持、創出をすることで地域の持続的発展につなげることを目的に固定資産税の課税を免除する条例の概要について報告を受けました。

○成人式の在り方について(報告案件)

民法の改正により令和4年4月1日から施行される成年年齢の引き下げに関わり、成人式の在り方について、成年予定者へのアンケート結果の説明を受け、審議しました。

○旧余市福原漁場施設の修繕について(報告案件)

雪害により被害を受けた旧余市福原漁場の屋根の修繕について報告を受けました。

【第2回】

(令和3年9月29日開催)

○余市町総合体育館及び余市運動公園有料公園施設指定管理者募集要項について(所管事務)

令和4年度以降の指定管理者募集に関わる要項について説明を受け、審議しました。

○令和3年度人事院勧告について(報告案件)

人事院勧告に基づき、一般職及び再任用職員の給与勧告の要旨について報告を受けました。

○普通財産の売払いについて(報告案件)

町が保有する普通財産の売払いの今後の考え方について報告を受けました。

○総合計画策定に向けたまちづくり協議会からの提言について(報告案件)

総合計画策定に関わる余市町まちづくり協議会での発言の要旨について報告を受けました。

○会津藩士入植150周年記念事業の延期について(報告案件)

コロナ禍により、記念事業の実施を来年度以降に延期することについて報告を受けました。

民生

環境

新型コロナウイルス感染症対策について調査を行いました

【第2回】

(令和3年9月30日開催)

○特定健診の実施状況について(所管事務)

令和元年度の未受診者対策として、国民健康保険被保険者ごとの受診データを人口知能AIにより分析し、被保険者それぞれの特徴に合わせた効果的な受診勧奨に加え、町内医療機関から通院中の方にデータをもらい受ける、特定健康診査情報提供を小樽市内の医療機関に拡大、また、過去に受診歴ある方には、在宅保健師、管理栄養士による電話やはがきによる勧奨、受診歴のない方には在宅保健師による訪問を継続実施しているとの説明を受けました。

また、平成28年度から令和元年度における道内の年度別特定健診受診率に基づく順位では、受診率は28.9%、前年度比0.6



新型コロナウイルスワクチン接種のポスター

ポイント下がり、順位は138位、後志全体の受診率は25.6%、前年度比0.5ポイント上昇し、順位は152位、余市町の受診率は30.2%、前年度比2.5ポイント上昇し、順位が145から133位に上がったものの、仕事の都合や健康に問題がない、かかりつけの病院で検査しているなどの理由から受診率は低迷傾向にあり、さらに、新型コロナウイルス感染症の影響により受診控え等が見られる中、今後も受診率向上に努める旨の説明を受け、審議しました。

○新型コロナウイルス感染症対策について（所管事務）
国がまん延防止等重点措置区域、緊急事態宣言対象区域に北海道を追加したことに伴い、庁舎内における新型コロナウイルスに関する対策連絡会議の経過

について説明を受けました。また、新型コロナウイルスのワクチン接種の経過として、ワクチン接種が順調に進んだことから、9月以降は接種医療機関を縮小して実施することについて説明を受けました。

さらに、町内の接種状況については、65歳以上の高齢者7326人のうち、1回目の接種数は6755回、接種率は92.2%で、2回目の接種数は6661回、接種率は90.9%となっており、町全体では1万8253人のうち、1回目の接種数は1万4668回、接種率は80.4%で、2回目の接種数は1万3948回、接種率は76.4%となっており、今後12歳到達者、未接種で転入してきた方、諸事情により接種できなかった方の接種を進めていくことについて説明を受け、審議しました。

産業
建設

農作物の作況について調査を行いました

【第19回】

（令和3年7月28日開催）

○スマート農業について（所管事務）
今年度実施予定のセンシング技術を活用した病害虫防除や収穫、管理作業が行えるシステムの開発と実証について説明を受け、審議しました。

○下水道広域化推進総合事業について（所管事務）
昨年度実施した基本設計の概要と今後の事業予定について説明を受け、審議しました。

【第2回】

（令和3年9月2日開催）

○農作物の作況について（所管事務）
例年は現地調査を主体に調査

していますが、国の緊急事態宣

言を受け、本年は資料による調査を行い、調査予定であった圃場の経営概要、さらに北後志地域の作況について、主要作物は全体として順調に推移していることなどの説明を受け、ミニトマトの多品種化の影響、ブドウにおける病害虫の影響、シャインマスカットの作付状況や補助制度等について審議しました。

【第3回】

（令和3年9月27日開催）

○多面的機能支払交付金について（報告案件）
農業、農村の持つ多面的機能の維持・増進には地域の共同活動による地域資源の良好な保全や質的向上の取組推進が重要なことから、水路の泥上げや農道の路面維持等、地域資源の基礎的保全活動、施設の軽微な補修、長寿命化などの共同活動に対し支援を行う交付金の活用について報告を受けました。

○株式会社余市振興公社の清算について（報告案件）
令和2年度末の公社解散に伴い、令和3年8月17日に清算事務が完了したこと、その経過等について報告を受けました。

○余市町感染拡大防止対策支援助成金について（報告案件）
8月の北海道を対象とした緊急事態宣言発出に伴い、町内の感染リスク低減に取り組む事業者には5万円を定額支給することについて報告を受けました。

○余市あゆめ公園（パークゴルフ場等）・余市町総合体育館及び余市運動公園有料公園施設・黒川町営駐車場・黒川第2町営駐車場指定管理者募集要項について（所管事務）
各施設の令和4年度からの指定管理者について、募集期間は10月19日から11月19日までとし、条例等により公募することについて説明を受け、指定管理期間の考え方、コロナ禍の指定管理料算出への影響、駐車場の監視カメラの設置の必要性等について審議しました。

○漏水事故に伴う損害賠償について（報告案件）
令和3年8月12日の港町での漏水事故により食品製造事業者に生じた損害の示談成立について報告を受け、水道事故発生時の体制見直し等について発言がありました。

一 般 質 問

第3回定例会での一般質問は、9人の議員から10件の町政全般に対する質問がありました。
一般質問は、一問一答方式により、質問、答弁を合わせ制限時間45分の範囲内で行い、議会だよりに掲載している内容の要約は質問した議員みずからが要約し、その原文を掲載しています。

大物 翔議員

(日本共産党議員団)

住所登録情報の確認を促すことについて

質問 大物議員 現在住所には町名、街区符号、住居番号ないし枝番が割り振られているが、半世紀近く前は住居番号がなく、帳面上は〇〇町〇〇丁目〇番など2種類のみで、現在もそのまま登録されているケースがあると聞くが、本町で住居番号ないし枝番が割り振られ始めたのはいつからか伺いたい。
答弁 齊藤町長 本町では住居表示法による住居番号は採用していませんが、昭和30年に字名区域を廃止し、新たに町名区域にしたものが現在住所地として表示されているものと認識しています。
質問 大物議員 比較的新しい居住地域ではなく、昔から存在する居住地に登録不一致の状態が多いのではないかと。
答弁 齊藤町長 住民票登録住所と実際の地番との不一致の状態については、現状では確認することが困難と考えています。

質問 大物議員 ふだんは生活上不便を感じないため忘れがちだが、相続や現況調査の書類を提出する際に混乱や修正手続、再確認作業が発生するなど大変な思いをするケースがあると聞いており、行政は、法令上こうした情報の修正をする際に強い行政指導を行う権限は持つていないものの、広報などを通じて今から備えておきませんかと確認と手続を促すことは可能と考えるが、行政指導ではなく、促しとして情報の更新、修正を住民に求めることについて見解を伺いたい。

答弁 齊藤町長 住民票登録住所はご本人の申請に基づき登録しており、おびただしい過誤がない限り本人の自主的な申請により更新、修正していくものと考えています。

質問 大物議員 現況届を出したら、ここに書かれていない方も一緒に住んでいないかと役場から電話があり、当然自分が書いた以上の人は住んでいないので、最終的にその書類は受理されたが、全く関係ない人が自分の家に住所登録をしているのではないかと、調べてほしいといった生活相談もあるので、強制はできないが、そういった促しを進めたほうがよいと考える

が、見解を伺いたい。

答弁 齊藤町長 特段大きな問題が生じている事例も特になく、もしあれば、個別具体的に相談に来ていただければと考えます。

山本 正行議員
(よいち未来)

防災無線の早期整備について

答弁 齊藤町長 防災情報の伝達は非常に重要なものと捉えており、防災無線の導入には8億円から16億円ほどの費用が試算されますが、現時点におきましてはヤフーとも連携した防災アプリや防災速報による発信を行っているとともに、防災情報のみならず様々な情報発信として余市町公式ラインを活用し発信していることから、公式ラインの利用者増に向けさらなる周知を図ります。

質問 山本議員 平成30年9月6日に発生した北海道胆振東部地震から3年の歳月が経過し、改めてお亡くなりになりました皆様に謹んで哀悼の意を表するとともに、被害に見舞われた皆様には心よりお見舞い申し上げます。ところで、以前より、余市町都市計画マスタープラン策定に当たって住民意識調査を行っており、その中で都市防災について必要なことについて問うと、54%の方が防災情報の周知、共有を要望しており、このような町民の要望や昨今の多発する災害状況を鑑みると、一刻も早く防災無線の整備が必要と思われるが、町長の見解を伺いたい。

質問 山本議員 防災無線という設備ではなくてもいいが、災害がいつどこで起きるか分からない中で、来年からスタートする新総合計画に情報伝達の整備を何らかの形でできつちりとリンクさせて、計画を実行するなど町長の見解を伺いたい。

答弁 齊藤町長 防災に関して情報伝達は重要であり、その手段に関しては従来型の防災無線は非常にコストが高く、防災アプリだとかラインなど新しい技術がどんどん進んでいるので、当面はこれらを有効に活用しながら情報伝達をするというのが非常に合理的ではないかと考えています。

質問 山本議員 従来型の無線にこだわる考えではないが、町民が安心して暮らすために、情

一 般 質 問

報伝達に特化しなければ駄目だ
と思うが、見解を伺いたい。

答弁 齊藤町長 非常に効果的
な伝達方法がどんどん生まれて
きており、それを有効に活用し
ながら情報伝達に努めるとも
に、情報伝達以外の分野に関し
ても広域で支え合うことを重
視し、様々な場面で防災に関し
ては住民の安全を確保するため
の施策を行っていきたくと考え
ます。

寺田 進議員 (公明党)

防災ガイドマップ及 び避難行動について

質問 寺田議員 余市川の洪水
浸水想定区域図の浸水の深さの
表示に誤りがあり、新しい防災
ガイドマップが配付予定だが、
避難経路、指定緊急避難場所、
指定避難所の変更はないのか。

答弁 齊藤町長 洪水浸水想定
区域の範囲に変更がないため、
このたび取り壊した潮見会館を
除き、変更はありません。

質問 寺田議員 町民には災害
時の避難経路、指定緊急避難場



防災ガイドマップ

所、指定避難所はどのように伝
えているのか。

答弁 齊藤町長 防災ガイドマ
ップの全戸配布、ホームページ
等への掲載、さらには区会連合
会や防災関係機関と連携し、避
難訓練や勉強会など機会を捉え
て広く町民へ周知を図ります。

質問 寺田議員 防災ガイドマ
ップには町からの避難情報がな
くても危険を感じたら避難する
とあるが、具体的にどの時点で
避難行動を起こせばよいのか。

答弁 齊藤町長 気象庁により
新たに避難行動が5段階に改正
され、3の段階で高齢者が避
難、4で避難指示ですので、3
から4の段階で具体的な行動を
することになります。

質問 寺田議員 ふだんの備え
として避難所や避難経路の確認
についてガイドマップにある
が、何か起こったら素早く行動
できるよう、行政の明確な情報
を基に地域住民による訓練が最
も大切と考えるが、見解を伺い
たい。

答弁 齊藤町長 防災意識を高
めておくことは非常に重要であ
り、意見に相違はありません。

質問 寺田議員 町の中心に洪
水の避難所がないといった情報
が伝わっていないのが現状と考
えるが、どのように伝えるのか。

答弁 齊藤町長 様々な場面で
周知、啓発していくことが重要
だと考えており、様々な機会を

捉えて周知していきます。

質問 寺田議員 台風による
各地の甚大な被害も、多くはハザ
ードマップで想定されているが、
避難勧告、避難指示の対象地域
が広いため避難行動に結びつか
ず甚大な被害が出るとされており、
本当に避難してほしい地域に
ピンポイントで避難行動を呼び
かけるようにできればよいと考
えるが、見解を伺いたい。

答弁 齊藤町長 ピンポイント
で個別に避難情報を伝えるのは
現実的にできる部分ではないと
考えますが、情報周知は必要で
あり、引き続き周知を図ります。

茅根英昭議員 (明政会)

新型コロナウイルス 対策としての動 画配信について

質問 茅根議員 新型コロナの
影響によりオンライン化の動き
が生まれ、道内各自治体でも動
画配信等、ICTやAIの議論
や活用されており、本町のまちづ
くり協議会でも、協働できる人

づくりとして開かれた行政やユ
ーチューブ配信による情報発信
の審議があったが、他町村の動画
配信の動向、まちづくり協議会
での審議内容について伺いた
い。

答弁 齊藤町長 昨今国や道な
どの会議やセミナーはオンライ
ン開催が主流で、本町のまちづく
り協議会ではオンライン方式と
対面方式を委員が自ら選択し、
参加できるよう実施しており、
動画配信は今後情報伝達の主要
ツールになると考えますが、まち
づくり協議会の提案の中に動画
については議会のユーチューブ配
信が書かれています。

質問 茅根議員 動画配信は北
海道でも多くの自治体が今後取
り入れていくと考えるが、導入
には幾らかかるのか。

答弁 齊藤町長 天塩町の例で
すが、動画編集ソフトはパソコ
ンに入っており、カメラ2台で
やっているの、無料で導入し
たと聞いています。

並行在来線の課題 と対策について

質問 茅根議員 北海道新幹線
並行在来線対策協議会では新た

一 般 質 問

な収支見直し、予測の公表、3通りの予測、転換バスルート等、様々な議論がなされているが、今までの会議内容を伺いたい。

答弁 齊藤町長 昨年度実施した旅客流動調査、将来需要予測調査、収支予測調査を踏まえ、関係沿線自治体の幹事会で調査内容の精査を行い、より地域の実情を踏まえた収支見込みとするため協議を行っており、内容は北海道のホームページでも公表されています。

質問 茅根議員 会議でも余市町だけは立場の違いを明確にしているが、小樽余市間を残すのだという思いについて伺いたい。

答弁 齊藤町長 余市小樽間は乗降客数、密度が多いので個別に切り離しており、多頻度、多駅で収益を上げるなど、残すに当たり様々な手法を検討する必要がありますと申し上げています。

質問 茅根議員 住民の機運を上げ、町の交通機関の将来を見据えて考えるべきではないか。

答弁 齊藤町長 どのようにしたら余市まで残すことができるのか、常にデータや予測に基づいて分析しています。

土屋美奈子議員

(よいち未来)

地域公共交通について

質問 土屋議員 余市町地域公共交通網形成計画(以下「計画」)は5年間の計画だが、感染症拡大などで策定時とは様相が変わり、持続可能な公共交通ネットワークの構築が急がれるが、見解を伺いたい。

答弁 齊藤町長 各交通事業者が大きな打撃を受けていると認識しており、感染対策及び感染症収束後、各交通手段が維持されるよう交通事業者に支援を行っています。計画については、本年度は(仮称)余市循環線(以下「循環線」)の実証運行を実施し、今後各施策の実施に当たってはコロナ禍やアフターコロナにおける生活様式の変化等に注目しながら取り進めます。

質問 土屋議員 住民意識としてのモビリティマネジメントがうたわれているが、どういったものか。

答弁 齊藤町長 計画で位置づ



(仮称) 余市循環線実証実験によるバス運行 (黒川町 ふじ公園前)

質問 土屋議員 公共交通を使い排ガスを抑えるなど地球温暖化やCO2削減の視点では、高齢者と子どもだけではなく、町内全体で支える仕組みが必要なのではないか。

答弁 齊藤町長 免許のない方や中高生は乗らざるを得ませんが、それ以外の層は車で移動することが多く、簡単にいかないと考えます。

質問 土屋議員 計画は免許を持っていない方向けの計画と捉えてよいのか。

答弁 齊藤町長 モビリティマネジメントは高齢者と中高生向けですが、公共交通は地域全体の話であり、公共交通に乗り換えることは難しく、妙案が見つからないところですが、今後も考えていきます。

質問 土屋議員 JR余市駅周辺の交通結節点機能の強化について進捗状況を伺いたい。

答弁 齊藤町長 本町を通る鉄道や路線バスの全てが余市駅周辺を通ることから、この地点を結節点として施策を展開していきます。

質問 土屋議員 バス待ち協力施設の確保状況を伺いたい。

答弁 齊藤町長 循環線の実証運行後、各停留所近くの施設に協力を仰ぎたいと考えます。

彫谷 吉英議員

(明政会)

町営斎場建設について

質問 彫谷議員 斎場は人生最後の避けて通れないお世話になる場所であり、社会生活に影響の少ない場所を選ばべきだが、現在の斎場建設に至った経過について伺いたい。

答弁 齊藤町長 平成24年以降建て替えについて検討を始め、平成28年度に町営斎場建替基本計画を策定し、着手しており、この間使用劣化から随時補修に努めています。

質問 彫谷議員 現在位置での改築の計画の経過について伺いたい。

答弁 齊藤町長 平成28年に基本計画の策定をコンサルタント会社に業務委託し、現在地での建て替えが最適であるとの評価を受け、検討を重ね、現在地での建て替えに至ったところです。

質問 彫谷議員 現在地を諦め、新候補地の調査が必要と考えられるが、コンサルティング任せの手法は考え直したほうが

一 般 質 問

よく、住民ともっと話し合いをしたほうがいいのではないかと。

答弁 齊藤町長 さきの第4回臨時会において町営斎場建替事業適地選定委託料の補正予算の議決をいただき、現在地を含め適地に関する専門家の評価を参考に町営斎場建替事業について進めます。

質問 彫谷議員 平成28年に建設事業の基本計画がつけられ、平成30年にのり面工事、令和元年4月に建設工事に着手し、工事中断となっているが、この間4億円以上を使った現火葬場の失敗の責任は発注者の当時の町長とコンサルテイングの不十分な調査だったと言えるが、その責任を取ったのか伺いたい。

答弁 齊藤町長 私自身が最高

責任者ですから、その点はお詫び申し上げると伝えている通りです。

質問 彫谷議員 町営斎場の進め方について、何でもコンサル任せでは過去に失敗した例があり、万能ではないことを考え、町民のニーズに合った質の高いサービスを提供することが必要であり、町民にアンケートを求め、議論をオープンにして基本から練り直し、町民のニーズに合った質の高いサービスを提供することが必要ではないか。

答弁 齊藤町長 日頃から町営斎場に関しては関係者とも意見交換や意見の集約を図っており、適地に関しては専門家の評価を参考に適地選定を進めます。

不便を感じている親の声を聞くが、交互にした理由を伺いたい。

答弁 齊藤町長 当初各保育所において午前のみ保育を実施していましたが、保育サービスの充実を図るため平成17年度から保育時間を一日とし、利用希望者の動向等を踏まえ、施設管理体制や職員の勤務体制を考慮し、月替わりで実施しています。

質問 白川議員 月替わりになつたことで不便を感じる親の声をどう捉えているのか伺いたい。

答弁 白川議員 交互に行う土



大川保育所



中央保育所

質問 齊藤町長 半日から一日に延びることで利便性が向上したという声は聞いており、送り迎えは車が多いので、特段不便という声は入ってきていません。

質問 白川議員 困つて声を上げる方は弱い立場の方であり、そういった声は少ないかもしれないが、現実にあること受け止め、今後につなげてほしいと考えるが、見解を伺いたい。

答弁 齊藤町長 利用者からの意見、要望等を把握し、今後も土曜保育を充実したものにしてきたいと考えます。

質問 白川議員 交互に行う土

曜保育を見直す考えはないか。

答弁 齊藤町長 人繰りの問題もあり、急激に変えるのは難しいですが、様々な意見や要望を把握しながら充実したものとなるよう適宜考えていきます。

質問 白川議員 現在保育士と入所児童はそれぞれの保育所で何名いるか伺いたい。

答弁 齊藤町長 大川保育所は常勤保育士11名、入所児童47名で、中央保育所は常勤保育士9名、入所児童42名です。

答弁 齊藤町長 ゼロ歳児は3人に1人、1歳児、2歳児は6人に1人、3歳児は20人に1人の保育士が必要となります。

質問 白川議員 それで保育士の対応は大丈夫なのか、満度に対応されているのか伺いたい。

答弁 齊藤町長 基準どおり対応しています。

質問 白川議員 今後少子化が進むことを踏まえ、保育体制の在り方について見解を伺いたい。

答弁 齊藤町長 人口減少、古くなった施設全体の見直しや将来的な統合も視野に入れ、充実した保育になるよう考えていきます。

質問 中谷議員 年内にも並行在来線小樽長万部間の結論が出るが、国と道は交通政策の責任を明確にせず、沿線自治体に押し付けており、トンネル残

の存続について

中谷 栄利議員
(日本共産党議員団)

町立保育所の土曜保育について

白川栄美子議員
(公明党)

質問 白川議員 大川保育所と中央保育所で交互に行っている土曜保育について、送り迎えに



並行在来線 (於: 栄町)

土問題や建設費用高騰の道民負担、開業後の交通体系が明らかでないままでは住民生活に大きく影響を及ぼすことから、北海道新幹線札幌延伸工事は停止し、並行在来線をはじめとした鉄道の価値を見直し、存続と有効活用のために協議すべきと考えるが、見解を伺いたい。

答弁 齊藤町長 北海道新幹線札幌延伸は既定事項と捉えており、並行在来線の協議はこれまでどおり北海道新幹線並行在来線対策協議会の中で協議します。

質問 中谷議員 経営分離を根拠に道が示す三セク、バス転換などの議論を進めているが、分割民営化の失政、高齢ドライバー、物流、CO2削減問題の十分な議論もなく、費用対効果で鉄道を剥がせば元には戻らないことから、国や道の鉄道に対する政策の責任を求め、駅を中心とした交通体系を構築し、利用しやすい鉄道にしていく打開策もあると考えるが、沿線自治体の首長は住民に説明し、判断を求めなければならぬ状況にあることから、見解を伺いたい。

答弁 齊藤町長 並行在来線は経営分離が既定事項ですが、新幹線全体の話は国で議論されるべきであり、余市町長の立場としては余市町の利益を守るため

に動くことに尽きます。

質問 中谷議員 余市まで残ればいいということにとどまらず、全道各地とつながっているからこそ北海道、余市の発展があることから、つながることの価値を見いだす立場に立つべきと考えるが、見解を伺いたい。

答弁 齊藤町長 鉄道の重要性は認識していますが、余市町長の権限としてできることとできないことがあるので、権限の範囲外は別の次元の場で議論して

安久莊一郎議員
(日本共産党議員団)

建設アスベスト被害について

質問 安久議員 建設資材のアスベスト、石綿を吸い込み、肺がんや中皮腫などの健康被害を受けた元建設作業員や遺族が国と建材メーカーを訴えた訴訟に關わり、5月17日に最高裁として初めての判断が示され、アスベストの危険性を認識できた1975年からアスベストの建材使用や製造を原則禁止した2004年までの賠償責任を問

いたきたいと考えます。

質問 中谷議員 別の次元の議論ではなく、高齢化やCO2削減の問題が重要になる中で、地域、北海道全体の発展のためにも地域公共交通としての鉄道の役割を見いだす立場に立つべきと考えるが、見解を伺いたい。

答弁 齊藤町長 地域住民の足として鉄道は必要と考えており、余市町長の権限の範囲内で行えることをやっています。

中学校2校の煙突用断熱材にアスベストの含有が判明し、小学校は令和元年度に除去工事を実施、その他3校は年2回煙突周辺に空気中に含まれるアスベスト含有量を測定し、飛散していないことを確認しており、公共施設の改修工事等については、大気汚染防止法に基づき取り進めています。

質問 安久議員 広報の3月号に、大気汚染防止法の改正について掲載されており、解体等の工事の事前調査結果報告が義務づけられているとあるが、対象となる町内の事業所数と広報以外の対策について伺いたい。

答弁 齊藤町長 解体事業を行うのは町内業者のみならず、町外様々な業者が行うので、数値を把握するのは困難ですが、解体事業者は法律を当然知っているものと認識しています。

質問 安久議員 建設資材のアスベスト、石綿を吸い込み、肺がんや中皮腫などの健康被害を受けた元建設作業員や遺族が国と建材メーカーを訴えた訴訟に關わり、5月17日に最高裁として初めての判断が示され、アスベストの危険性を認識できた1975年からアスベストの建材使用や製造を原則禁止した2004年までの賠償責任を問

質問 安久議員 建設資材のアスベスト、石綿を吸い込み、肺がんや中皮腫などの健康被害を受けた元建設作業員や遺族が国と建材メーカーを訴えた訴訟に關わり、5月17日に最高裁として初めての判断が示され、アスベストの危険性を認識できた1975年からアスベストの建材使用や製造を原則禁止した2004年までの賠償責任を問

質問 安久議員 建設資材のアスベスト、石綿を吸い込み、肺がんや中皮腫などの健康被害を受けた元建設作業員や遺族が国と建材メーカーを訴えた訴訟に關わり、5月17日に最高裁として初めての判断が示され、アスベストの危険性を認識できた1975年からアスベストの建材使用や製造を原則禁止した2004年までの賠償責任を問

質問 安久議員 建設資材のアスベスト、石綿を吸い込み、肺がんや中皮腫などの健康被害を受けた元建設作業員や遺族が国と建材メーカーを訴えた訴訟に關わり、5月17日に最高裁として初めての判断が示され、アスベストの危険性を認識できた1975年からアスベストの建材使用や製造を原則禁止した2004年までの賠償責任を問

図書館で会議録・委員会記録が閲覧できます

議会だよりは一般質問や審議結果などをわかりやすくお伝えするため、内容を要約して掲載しています。

より詳しい内容をお知りになりたい方は、議会のホームページ、図書館に備え付けの会議録をご利用ください。

議会日誌

8月

- 20日 議会運営委員会
- 23日 第4回臨時会
- 23日 議員協議会
- 27日 各常任委員会・議会運営委員会
- 30日 並行在来線の存続等に関する調査特別委員会

10月

- 5日 議会運営委員会
- 5日 北海道町村議会議長会会計監査
- 6日 第5回臨時会
- 21日 議会運営委員会
- 22日 産業建設常任委員会
- 25日 北しりべし廃棄物処理広域連合議会

9月

- 2日 産業建設常任委員会
- 10日 議会運営委員会
- 13～15日 第3回定例会
- 14日 議会運営委員会
- 15日 水道事業会計決算特別委員会
- 27日 産業建設常任委員会
- 29日 総務文教常任委員会
- 30日 民生環境常任委員会

11月

- 1日 総務文教常任委員会
- 5日 民生環境常任委員会
- 9日 後志町村議会議長会臨時総会
- 10日 並行在来線の存続等に関する調査特別委員会
- 17日 総務文教常任委員会

編集後記

町民の皆様には師走を迎え、慌ただしい日々をお過ごしのことと思います。

今年の夏、本町は例年になく雨が少なく上、猛暑が続きました。一方、他県では記録的な豪雨による被害が頻発し、静岡県熱海市で起きた大規模な土砂災害は、まさに都市開発の盲点を突きつけた災害と言えます。また、北海道の太平洋沿岸で発生した赤潮が原因と見られる漁業被害が発生するなど、温暖化による日本列島の気候変動が気にかかります。

議会では8月23日開会の第4回臨時会で各常任委員会と議会運営委員会の委員が選任され、それぞれの委員会で正副委員長の互選が行われました。各委員会で町民皆様の負託に応えるべく、積極的に議論をして議会活動に取り組んでおります。

新型コロナウイルス感染症が拡大してから2度目の師走を迎えることになり、さまざまな制限が緩和されてはいるものの、いまだ収束しない状況ではあります。議会としても町民皆様の生命と暮らしを守るため、その責務を全議員で果たしてまいります。

総務文教常任委員会
委員長 岸 本 好 且